

# 利根川・江戸川ブロック公述書

開催場所：野木エニスホール 小ホール

開催日時：平成19年3月8日

届出者の住所 栃木県 藤岡町  
 年代(○で囲んでください) 10歳未満・20代・30代・40代・50代 (60歳以上)  
 性別(○で囲んでください) (男性) 女性

公述人 1  
 利根江戸-53

意見の概要

栃木県最南端扇状地標高15mの低湿地帯に住む人々は、往古より洪水と治水の歴史でもありその被害は、辛酸を極め多くの人命と財産を失ってきた。原因は上流の利根川の流化能力不足により、支流の渡良瀬川の負荷増大による逆流で巴波川の堤防が決壊することが多い。

渡良瀬遊水地内の第2調節池の掘削による治水容量確保は緊急の課題であり、洪水調節機能施設の充実と堤防強化、避難所造成など早期実現を要望する。

渡良瀬遊水地内の乾燥化も進み自然環境保全も困難な状況にある。自然の恵みに感謝した「調和と共生」の道が開かれることを確信する。

自然環境保全には歴史的認識を踏まえて、地域住民との係わりと地域活性化の事業を更に進捗するために遊水地の一部に古来の沼、池の再生等地域住民の声を反映させて、エコミュージアム構想など期待したい。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめてください。

届出者の住所 茨城 都・(県) 古河 (市) 区・町・村  
 年代(○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代 (60歳以上)  
 性別(○で囲んで下さい) (男性) ・ 女性

公述人 2  
 利根江戸-26

意見の概要

渡良瀬遊水地の治水機能と自然保護のあり方について
意見を述べたい。私は遊水池の下流、三国橋近くの堤防
近くに住んでいる。日頃からその治水効果については大
きな関心を持ち、今まで水害に会うこと無く無事に過ご
して来られたことに感謝している。一方遊水池の整備も
含め、今までの治水対策は一方的に自然環境を犠牲にし
て行われてきたように思えてならない。人の命と財産を
水害から守る治水対策は決して疎かに出来ないが、同時
にそこに生息する生き物と共生出来る対策であるべきも
のと思う。少なくとも遊水池のレッド・データ搭載種(野
鳥36種、植物49種、昆虫18種、淡水魚2種)の生
息を損なうような治水対策であってはならない。改正河
川法には治水・利水に加え「河川環境(水質・景観・生
態系)の整備と保全が謳われている。種の保存法・環境
基本法なども整備されている。法の理念に基づき、自然
保護と両立した対策を工夫すべき。工夫すれば出来る。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

栃木 都・県 真岡 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

公述人3  
利根江戸-33

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

意見の概要

上流ダム群の建設も含め、利根川水系の河川行政に関する問題点・矛盾点は多々ある。整備計画策定にあたっては、外からの厳しい検証と、抜本的な見直しが必要である。

特に渡良瀬貯水池（谷中湖）は、大失敗作であることは明白。国交省はそれを取り繕うため小手先の対策を弄しているが、構造上の欠陥を改めない限り解決はない。

また渡良瀬遊水池の治水容量確保のための大規模掘削計画も、上流域の地元の洪水対策にはならないどころか、むしろ真の治水対策の障害になりかねない。洪水被害を恐れる地元のために早急に進められるべき治水対策事業は、遊水池の500万m<sup>3</sup>以上掘削ではなく、本川・支川の河道整備・堤防強化であり、そこに最優先で予算が使われるべきなのである。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい

以下の部分について公表します

届出者の住所

群馬 都・県 板倉 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

公述人4  
利根江戸-15

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

意見の概要

真岡工業団地の渡良瀬貯水池は、過去にいくつもの大規模土木工事が行われ、工業的景観や素晴らしい自然がその都度下まぐ損なわれ、失われてきた。

特に谷中湖の建設は、その場所にあったオハケ沼といわれ、北は大きな水面、周辺の雄大な自然、動物の宝庫と矢張り、今はコンクリート護岸で囲まれた人工的な水面と化してしまっている。コンクリート護岸に加え、渡良瀬川最下流の水をため、こぼれ、海類の異常増殖に及ぶ水質の悪化もひどく、その改善対策として工するヨシ原浄化池など人口増加につく、その結果はあまり期待がたないものがある。冬物の谷中湖干上げも海類の増殖の時期を早らせるだけではないかと思われ、次の土木工事として治水容量増強のそのもとに別の場所の大規模掘削計画があり、下まぐ谷中湖の治水は治水容量があるのに、これ以上の自然破壊は進め、ほしくありません。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

茨城 都・県 古河 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人5

利根江戸-1

意見の概要

渡良瀬貯水池(谷中湖)の失敗を繰り返してはならない。渡良瀬貯水池では過去にいくつもの大規模土木事業が行われ、貯水池のすばらしい自然がその都度、大きく損なわれてきた。最大の土木事業は谷中湖の建設であった。その場所にはかつてオバケ沼といわれた大きな水面があり、その周辺も含めて自然の宝庫であったが、今はコンクリートの護岸で囲まれた人工的な水面に変わってしまった。谷中湖は渡良瀬川最下流の水をためるため、藻類の異常増殖による水質悪化がひどく、その改善対策として、ヨシ原浄化池など、更なる土木事業が行われてきたが、その効果はあまりなく、谷中湖の水質は今なお劣悪な状態にある。貯水池では次の土木事業として、治水容量増強という名のもとに大規模掘削事業が浮上しているが、すでに1億7千万円強という大きな治水容量が確保されている貯水池ではその必要性は皆無であり、これ以上の自然破壊は追ってはならない。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所

栃木 都・県 野木 市・区(町)・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人6

利根江戸-24

意見の概要

①「河川整備計画」策定のプロセスについて  
 計画策定の諮問機関には、河川法が定めている住民代表を外しています。有識者会議は議論による合意形成の場になっていないと傳えます。議論の公平と民主的運営を確保し、ゼネコンへの牽制にならないためにも、計画策定のプロセスを形骸化させない改善を望みます。そのうえで審議の進捗に沿った公聴会での議論を望みます。

②渡良瀬貯水池に関して  
 マスコミ報道では、国交省は治水目的で治水地・第2調節池の掘削をすでに明言し、掘削し始めています。これは動植物の宝庫であり、日本最大のこの治水地を人類の英知であるラムサール条約登録地実現に向けて取り組みを展開しています。勿論、自然環境と「共水」を両立させて末代まで保持していくためです。国交省は是非、この条約登録地実現を念頭に計画策定に当たることを望みます。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい

以下の部分について公表します

届出者の住所

栃木県

小山市

公述人7年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

利根江戸性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

意見の概要

私	た	ち	の	住	ん	で	い	る	地	域	は	、	思	川	や	巴	波	川	に	囲	ま	れ	て	
い	る	た	め	、	台	風	の	季	節	に	な	る	と	、	毎	年	の	よ	う	に	河	川	が	増
水	し	、	利	根	川	や	渡	良	瀬	川	か	ら	の	影	響	に	よ	る	洪	水	に	不	安	を
募	ら	せ	て	生	活	し	て	お	り	ま	す	。	近	年	は	異	常	気	象	に	よ	り	、	各
地	で	大	き	な	災	害	が	発	生	し	て	お	り	ま	す	が	、	こ	の	地	域	も	平	成
1	0	年	の	台	風	で	は	、	警	戒	水	位	を	超	え	避	難	勸	告	が	出	さ	れ	、
平	成	1	4	年	の	台	風	で	は	、	危	険	水	位	を	超	え	、	堤	防	の	漏	水	等
も	発	生	し	、	破	堤	す	る	可	能	性	も	あ	る	危	険	な	状	況	で	し	た	。	
利	根	川	や	渡	良	瀬	川	か	ら	の	影	響	に	よ	る	洪	水	を	減	少	さ	せ	る	
た	め	、	渡	良	瀬	遊	水	地	第	2	調	節	池	に	つ	い	て	は	、	掘	削	に	よ	る
治	水	容	量	の	確	保	と	堤	防	強	化	、	思	川	・	巴	波	川	に	お	い	て	は	河
床	掘	削	に	よ	る	流	下	能	力	を	増	強	す	る	と	と	も	に	堤	防	強	化	が	、
地	域	住	民	の	永	年	に	亘	る	悲	願	で	あ	り	ま	す	。	ま	た	、	整	備	に	お
い	て	は	、	渡	良	瀬	遊	水	地	や	思	川	・	巴	波	川	な	ど	の	自	然	の	景	観
や	環	境	保	全	、	遊	水	地	の	湿	地	の	再	生	に	も	十	分	配	慮	し	た	計	画
に	し	て	い	た	だ	く	よ	う	併	せ	て	お	願	い	い	た	し	ま	す	。				

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。